

注) アンケートに回答はあったが、大・中型動物については全て生息しないとの回答だった集落

神戸市垂水区：奥畑、下畑、滑、西垂水、東名谷、舞子
 神戸市西区：印路、永井谷、押部、下講、丸塚、居住、近江、古神、広谷、高津橋、高和、今津、坂ノ下、寺谷、漆山、出合、小山、上新地、上池、上津橋、上北古、常本、新堀、森友、吹上、水谷、菅野、生田、西河原、西戸田、西場、西盛、前開中、大野、谷口、池谷、長谷、天ヶ岡、田中、東河原、栃木西、滝戸、内山、南古下、南古上、二ツ屋、白水、福住、福谷、北場、木津、木幡、友清、養田、和田ヶ市、脇
 伊丹市：荻野、口酒井、濁池、山田、寺本、森本、西台下、千僧、大鹿、大野、天津飛鳥井、南野、北河原、野間
 川西市：栄根、火打、久代、見野、出在家、滝山、東久代、萩原
 宝塚市：伊子志、下安倉、丸橋、鹿塩、小浜、上中筋、蔵人、中筋南、東蔵人、米谷東
 三田市：宮脇、溝口、北区
 明石市：原ノ町、山の下、山川、小久保、松陰、上西、清水、西大窪、西鳥羽、西二見、船上、太寺、大久保町、中尾、鳥羽、鳥羽新田、浜谷、福田
 播磨町：駅西駅前、宮北、古田、二子北、本荘西、本荘北
 稲美町：印西、下草谷上、菊徳、七軒屋、中村、八軒屋
 加古川市：井ノ口、井坂、永室、横大路、間形、原、向、広尾東、溝の口、行常、国包、国包南、細工所、坂井、坂元、篠原、升田、上原、上富木、新在家、神吉、神野北、清水、西河原、西中、大國、池尻、長砂、天下原、土山駅前、東中、東飯坂、二屋、二俣、富木、別府、北別府、北野、野口、野尻
 高砂市：高砂、今市、小松原、神爪、西部、地徳、中筋西、中西、中通、中島、中部、中部、島、東南部、東部、東部、梅井、米田、米田新、北部
 三木市(旧三木市)：加佐西、花尻、久留美、近藤、原坂、広野、高男寺、高木、細川中上、小二谷、小林、西、西中、相野、大山、大村、東吉田、東中、馬場、府内、平田、榎、里脇、梶原、(旧吉川町)：奥谷、吉安下、吉安上、山上、大沢、渡瀬、有安
 小野市：旭、河合西、喜多、黍田、久保木、古川、高田、櫛、小田上(南小田)、小野、上新町、神明、西山、青野原、曾根、大島、池尻、北丘、万勝寺(新田)、脇本
 加東市(旧東条町)：松沢、貞守
 西脇市(旧西脇市)：嶋
 姫路市(旧姫路市)：阿成、一本松、延末、奥山、下手野、下野田、加納原田、亀山、吉美、京町、橋爪、金竹、栗橋、栗山、恵美酒、見野、広畑第1、甲阿保、甲保城、坂元、坂出、山吹、山野井、市之郷、酒井、出耕作北部、小坂、庄、上原田、城東町、神屋町、清江、西蒲田、西御着、西今宿、西多田、西中島、千代田町、川西、大善町、鍛冶内、中野、中野田、津市場、辻井、東延末、南条、白浜乙、白浜丙、福井、北今宿、野里西部、和久、福岡町、辻川、姫路市(旧香寺町)：岩部、犬飼、広瀬南、広瀬北、中屋、土師
 たつの市(旧新宮町)：新宮、仙正、(旧揖保川町)：神戸北山、(旧龍野市)：横内、下富水、高駄、山下、山根、上沖、上富水、大道、中村、長真、東田中、福田、片吹、北山、末政、門前、揖保中、菅
 六栗市(旧山崎町)：下広瀬、今宿、山田、庄能、中広瀬、(旧波賀町)：鹿伏
 赤穂市：御崎2区、北の町
 上郡町、宿、大持
 篠山市：口坂本、今田新田、東沢田
 朝来市(旧和田山町)：立ノ原
 豊岡市(旧豊岡市)：宮島、今森、正法寺、清冷寺、中陰、(旧出石町)：宵田、(旧日高町)：佐田、西芝、東構、栃本、
 淡路市(旧一宮町)：井手、向谷、三軒屋、山田、糸谷、上条、上浜、深草、西、西ノ上、西桃川、川辺、草香、草香北、竹谷、中村、田辺、東、東、南、入野、浜、浜、里、老の内、淡路市(旧津名町)：中田南、木曾下、木曾上、木曾西、(旧東浦町)：井上浜、絵堂、久留麻、宮前、小田、第1、中浜、馬場、畠田、平松、(旧北淡町)：机、古屋、浜、里下、里上
 洲本市(旧洲本市)：安坂、安坂下、宇山山所、下内膳、岸川、宮野原、桑間1丁目、桑間上、原、厚浜、三木田、山田原、上加茂、上物部、大野下、中川原、中田、町内、直田、南、納下、納上、尾筋、浜、物部、北谷、木戸、(旧五色町)：宇谷、岡田、開、葛尾、稻野、吉田、隅所、原所、古池、社日、小山田、上、上、勢山、西、西ノ脇、船瀬、大宮、大日、大浜、中の下、中の上、中邑、都志、東、南、南谷、二重、肥余、米山、北、万才、明神
 南あわじ市(旧三原町)：委文、円行寺、下幡多、経所、高、山所、市、小井、小椋列、小路、松田、松本、上幡多、新庄、善光寺、掃守、大椋列、段、中島大、徳野、南上、難波、入田、福永、北所、野原、養宜中、笹池、(旧西淡町)：塩浜、下所、戒旦寺、慶野、畦原、古津路、高屋、山口、西路、中央、登立、片田北、北浜、北方、本村、本村、本村、脇田、(旧南淡町)：原田、西谷、西田、鍛冶屋、中組、筒井、北組、立川瀬、鳩、(旧緑町)：安住寺、広田上、山添、庄田、中田、土井

附表4 市区町単位での大・中型野生動物の生息、出没程度、被害程度、前年からの増減、(シカ・イノシシの)被害の始まった時期、(外来種の)出現年、防護柵の有無、設置率

3年間とも回答の得られなかった市区町は除いてある。 凡例は附表3と同じ

<外来種>

市町 (2006年度)	旧市町/区	調査の有無		ニホンジカ					イノシシ					ツキノワグマ					ニホンザル										
		2003	2004	2005	生息の有無	出没程度	前年からの増減	被害程度	前年からの増減	被害の始まった時期	生息の有無	出没程度	前年からの増減	被害程度	前年からの増減	被害の始まった時期	生息の有無	出没程度	前年からの増減	被害程度	前年からの増減								
神戸市	東灘区	1	1	0							1	3	2	△	▼	1	▼												
	灘区	1	1	0							1	3	2	△	▼	1	▼												
	中央区	1	1	0							1	2	1	△															
	兵庫区	1	1	0							1	1	1	△	▼	1	▼												
	長田区	1	1	0							1	2	1	△															
	須磨区	1	1	0							1	2	1	△	▼	1	▼												
	垂水区	1	1	0							0																		
西区	1	1	0							1	2	2	△	▼	1	▼													
尼崎市	1	1	1	0							0																		
播磨町	1	1	0							0																			
加古川市	1	1	0							1	1	1	△	▼	1	▼													
高砂市	1	1	0							1	1	1	△	▼	1	▼													
加西市	1	1	1	3	3	3	△	△	2	3	△	△	△	△															
姫路市	1	1	1							0																			
家島町	1	1	1							0																			
太子町	1	1	1	2	2	△	△	△	△	2	2	△	△	△															
たつの市	御津町	1	1	1	1	1	1	△	△	1	1	1	△	△	2001														
香美町	香住町	1	1	1	1	1	1	△	△	1	1	1	△	△															
淡路市	波路町	1	1	0							1	3	1	△	▼	1	▼							1998					
	東浦町	1	1	0							1	1	1	△	▼	1	▼							1998					

引用文献

- 赤星心, 坂田宏志, 田中哲夫. 2003. 野生動物との「距離感」が異なる住民の野生動物保護管理に関する意識の比較. 人と自然 14: 69-76.
- 朝日稔. 1973. 兵庫県の動物界の現状 兵庫県自然保護協会編, 兵庫県の自然の現状. 兵庫県生活部自然課.
- 伊沢紘生, 粕谷俊雄, 川道武男編. 1996. 日本動物大百科 第2巻 哺乳類Ⅱ. 平凡社, 東京.
- 上山泰代. 1995. 兵庫県南但馬におけるシカ個体群動態. 日林関西支論 4: 155-158.
- 川村俊蔵. 1973. 兵庫県におけるニホンザルの現状について 兵庫県自然保護協会編, 兵庫県の自然の現状－自然保護対策の基礎資料報告－. 兵庫県生活部自然課.
- 川道武男編. 1996. 日本動物大百科 哺乳類Ⅰ. 平凡社, 東京.
- 環境省自然環境局生物多様性センター. 2004. 第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書
- 環境庁. 1979. 第2回 自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(哺乳類) 全国版
- 神戸海洋气象台. 2001. 兵庫県の気象. 財務省印刷局
- 坂田宏志, 濱崎伸一郎, 岸本真弓, 三橋弘宗, 三橋亜紀, 横山真弓, 三谷雅純. 2001. 兵庫県におけるニホンジカの生息密度指標と捕獲圧、農業被害の関連. 人と自然 12: 63-72.
- 坂田宏志, 濱崎伸一郎, 三橋弘宗, 横山真弓, 三谷雅純. 2002. 兵庫県におけるニホンジカの個体数管理に向けた複数のシナリオの検討と将来予測. 人と自然 13: 21-28.
- 鈴木牧, 坂田宏志, 田中哲夫. 2004. 兵庫県における狩猟者人口の動態. 人と自然 14: 33-41.
- 玉田克己, 車田利夫. 2006. 道路と空からシカを数える- 個体群の動向(梶光一, 宮木雅美, 宇野裕之編) エゾシカの保全と管理. 北海道大学出版会, 札幌.
- 日本生態学会. 2002. 外来種ハンドブック. 地人書館
- 農林水産省大臣官房統計情報部. 2002. 2000年世界農林業センサス(林業編). 農林水産省.
- 農林水産省統計情報部. 2000. 2000年世界農林業センサス結果報告書 第1巻(農業編) 兵庫県統計書.
- 室山泰之, 鳥居春巳, 前川慎吾. 1999. 近畿地方における野生ニホンザルの分布と保護・管理の現状. ワイルドライフ・フォーラム 5: 1-15.
- 野生動物保護管理事務所. 1991. 平成2年度野生鹿生息動態調査報告書.
- 野生動物保護管理事務所. 1994. 平成5年度鹿個体群動態解析評価事業報告書.
- 野生動物保護管理事務所. 2000. 平成11年度鹿個体群動態解析評価事業報告書, 川崎.
- 野生動物保護管理事務所. 2003. 兵庫県の移入哺乳類(ヌートリア、アライグマ)の分布情報の収集報告
- 野生動物保護管理事務所. 2004. 兵庫県下の情報の少ない哺乳類の分布と生息状況の変化に関する調査報告書
- 横山真弓. 2006. ツキノワグマはなぜ人里へ出没するのか?. エコソフィア 17: 23-29.

執筆者・調査協力者一覧

[執筆者]

藤木 大介 (関西野生動物問題研究会)
鮫島 弘光 (有限責任事業組合 里山鳥獣研究所)
坂田 宏志 (兵庫県立人と自然の博物館)

[調査協力者]

鈴木 牧 (東京大学演習林)
桃木 康行 (関西野生動物問題研究会)
中井 けい子
長谷川 智子
後藤 順子 (関西野生動物問題研究会)

兵庫県森林動物共生室 神戸農林水産振興事務所、阪神南県民局地域振興部、宝塚農林振興事務所、加古川農林水産振興事務所、社農林振興事務所、姫路農林水産振興事務所、上郡農林水産振興事務所、龍野農林振興事務所、豊岡農林振興事務所、和田山農林振興事務所、柏原農林振興事務所、洲本農林水産振興事務所

神戸市産業振興局農政計画課、尼崎市農政課、芦屋市経済課、伊丹市都市産業活力部農政課、川西市産業振興室産業・観光課、宝塚市都市産業活力部農政課、猪名川町環境経済部農林商工課、三田市経済建設部農業振興課、明石市農水産課、播磨町住民グループ、稲美町産業課、加古川市地域振興部農林水産課、高砂市生活環境部産業振興課、三木市産業環境部農業振興課、小野市地域振興部農政課、加東市経済部農林課、西脇市農林総務課、多可町産業振興課、姫路市農政総務課、福崎町産業課、市川町産業振興課、神河町農林業課、太子町経済建設部産業経済課、相生市産業振興課、たつの市産業課、宍粟市産業部農業振興課、赤穂市農林水産課、上郡町産業振興課、佐用町農林振興課、篠山市農村整備課、丹波市農林振興課、朝来市産業振興部農業振興課、養父市農政共済課、豊岡市農林水産課、香美町農林課、新温泉町農林水産課、淡路市産業振興部産業振興課、洲本市産業振興部ふるさと整備課、南あわじ市農林振興課

[写真提供者]

稲葉 一明 (兵庫県森林動物共生室)
後藤 順子 (関西野生動物問題研究会)
三田市立有馬富士自然学習センター

[この冊子について]

この冊子にとりまとめた兵庫県内の大・中型野生動物に関する研究は、有限責任事業組合・里山鳥獣研究所が兵庫県立人と自然の博物館からの委託を受けて実施した調査業務、データベース化業務および関連の知見を総括したものである。尚、本冊子を引用文献等で提示する場合は、以下のような記述とする。(和文) 藤木大介・鮫島弘光・坂田宏志 (2007) 兵庫県における大・中型野生動物の生息状況と人との軋轢との現状. 兵庫県立人と自然の博物館自然環境モノグラフ 3号. (英文) Fujiki D., Samejima H., Sakata H. 2007. Current status of wildlife and agricultural damage in Hyogo Prefecture. Monograph of Natural History and Environmental Science, No.3. Museum of Nature and Human Activities, Hyogo..

兵庫県立人と自然の博物館のデータバンク事業

自然環境に関する情報は、博物館の標本情報や研究成果、行政の実施した環境調査、自然愛好家による調査、大学の研究者による調査など枚挙に暇がありません。兵庫県立人と自然の博物館では、開館以来、各地に分散する様々な情報の収集を図り、自然環境に関する情報を集約し、自然環境モノグラフとしてとりまとめるとともに、データベースとして保管しています。こうした情報は、研究・展示や環境行政支援などの様々な用途へと活用しています。

■自然環境情報の収集

博物館は標本を収集するだけではありません。標本作成が容易な小型の生物とは違って、大型の哺乳類や鳥類、自然地形等は、標本を収集すること自体が難しいため、情報でしか記録を残すことができません。また、絶滅に瀕している動植物は、むやみやたらに標本にすることで、自然環境の破壊に繋がることが懸念されます。標本や書籍以外にも、古い写真やメモなども、かけがえのない情報となります。こうした情報を、様々な形で利用しやすいように、各種データベースや地理情報システム（GIS）を活用して電子データとしての整備を行っています。

〔業務内容〕

- ・ 収蔵資料のデジタル化および公開用データベースの作成
- ・ 自然環境情報に関連した出版物の発行（自然環境モノグラフ）
- ・ 博物館情報システムの開発
- ・ 委託調査業務の実施
- ・ 簡易GISの提供
- ・ レッドデータブック掲載種に関するとりまとめ
- ・ 一般からの質問および提供情報のデータベース化
- ・ リサーチプロジェクトの実施

■自然環境情報の活用

博物館が整備している自然や環境に関する情報は、地域資源の保全を行うためには欠かせないものです。これまでに、環境影響評価やレッドデータブックの作成など様々な環境行政に関する事業において、博物館の有する情報が利活用されており、整備したデータは行政機関等からの正式な依頼に応じて提供しています。また、より多くの方に情報を利用して頂けるよう、整備されたデータの一部については、博物館の展示端末やホームページを通じて公開しています。

〔業務内容〕

- ・ 行政機関への情報提供
- ・ 学術目的での情報提供
- ・ 環境情報の活用に関する受託業務
- ・ 自然環境情報システムの設計・開発および各種支援業務
- ・ 行政職員への研修会の開催

(シンクタンク事業推進室)

兵庫県立人と自然の博物館
自然環境モノグラフ 3号

**兵庫県における大・中型野生動物の
生息状況と人との軋轢の現状**

2007年3月31日 印刷

2007年3月31日 発行

発行 兵庫県立人と自然の博物館

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目

印刷 アイシー印刷株式会社

兵庫県における大・中型野生動物の生息状況と人との軋轢の現状

兵庫県立人と自然の博物館 自然環境モノグラフ3号 2007年3月



〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
tel.079-559-2001 fax.079-559-2007
6chome Yayoigaoka Sanda Hyogo, Japan 669-1546

Museum of Nature and Human Activities, Hyogo
Monograph of Natural History and Environmental Science, No.3

Current status of wildlife and agricultural damage in Hyogo Prefecture

18教①1-056A4